

「ひろしまの木を活かす建築大賞」新設 木造化・木質化した住宅以外の優れた建築物を表彰 ～令和8年6月16日(火)募集開始～

広島県では、設計者の木材利用に対する意欲を高め、住宅以外の建築物における県産材利用の推進に繋げるため、木造化・木質化した住宅以外の優れた建築物を表彰する「ひろしまの木を活かす建築大賞」を今年から開催します。県内で、木造化・木質化に取り組まれた皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

また、2次審査のプレゼンテーションや表彰式は公開で行います。県内で意欲的に活躍する建築士の作品を是非取材してください。

なぜ住宅以外の建築物の木造化が重要なのか

森林資源の循環利用を進めるためには、住宅に比べて、木造率が低位である住宅以外の建築物の木造化を推進することが重要です。

広島県では、平成26年から木造の設計に精通した設計者の育成に取り組み、県内で木造設計の知識を持つ設計者は増えていますが、木材利用をさらに進めるため、設計者が木造に取り組むやすい環境を整えてまいります。

近年では、地域住民への公的サービスを支える公共建築物、たくさん人々が集う商業施設、子育て施設等に加え、倉庫や作業所等、コスト合理性への要求が高い建築物についても木造が選択され始めています。

本建築大賞は、建築デザインに加え、木材の特性を活かした、木造化のロールモデルとなるような魅力的な建築物に光を当て、県産材利用推進の一翼を担います。

■受付期間：令和8年6月16日～8月31日

■対象：広島県内で新築・増改築された建築物

- ①H28.4.1～R8.6.15までに竣工したもの。
- ②広島県産材等を使用していること。※使用箇所、使用量は問いません。
- ③木造（木造と他構造との混構造含む）又は木質化された建築物であること。
- ④住宅以外の用途専用の建築物であること。

■表彰式：令和8年12月～令和9年2月頃（広島県知事賞1点、優秀賞数点）

■審査委員長 なかぞの てつや 中 蘭 哲也 広島大学准教授

略歴



1997年 広島大学工学研究科環境工学修士課程修了

2001年 ナフ・アーキテクトアンドデザイン共同設立

2019年～広島大学工学研究科建築学専攻准教授

「三次市農業交流連携拠点施設 トレッタみよし」、「広島県立大崎海星高等学校管理棟」で日本建築学会中国建築文化賞等を受賞。県産材を利用した木造建築設計を実践。

《募集概要》

1 スケジュール

| | |
|------------|-----------------------|
| 応募作品受付期間 | 令和8年6月16日（火）～8月31日（月） |
| 1次審査（書面審査） | 令和8年9月～10月 |
| 2次審査（対面審査） | 令和8年11月～12月 |
| 表彰式 | 令和8年12月～令和9年2月頃 |
| 受賞作品集の製作 | 令和9年1月～2月 |

※2次審査のプレゼンテーション及び表彰式は公開で行います。

2 実施概要

| | |
|-------|--|
| 募集期間 | 令和8年6月16日（火）～8月31日（月） |
| 応募対象者 | 設計者、建築主、施工者のいずれかの者。連名での応募も可能。 |
| 対象建築物 | 広島県内で新築・増改築された建築物のうち、次の全てに該当するもの。 （1）平成28年4月1日から令和8年6月15日までに竣工したもの。 （2）広島県産材等を使用していること。※使用箇所、使用量は問いません。 （3）木造（木造と他構造との混構造含む）又は木質化された建築物であること。 （4）住宅以外の用途専用の建築物であること。 |
| 審査基準 | 審査は次の視点に基づいて行います。 （1）建築物の木造化・木質化を実現するための工夫 （2）デザインや快適な空間づくりのための工夫 （3）県産材又は県産木材を有効に活用するための工夫 （4）地域産業の振興に貢献するための工夫 |
| 表彰区分 | 広島県知事賞1点、優秀賞数点 |

3 審査委員

| 区分 | 氏名・団体名（所属） |
|-------|--|
| 審査委員長 | 中菌 哲也 （広島大学大学院先進理工系研究科 准教授、ナフ・アーキテクト&デザイン） |
| 審査委員 | 【建築設計分野】 広島県建築士会 日本建築構造技術者協会中国支部 広島県建築士事務所協会 ひろしま木造建築協議会 【建築施工分野】 広島県工務店協会 【木材産業分野】 広島県木材組合連合会 【行政】 広島県農林水産局 |